

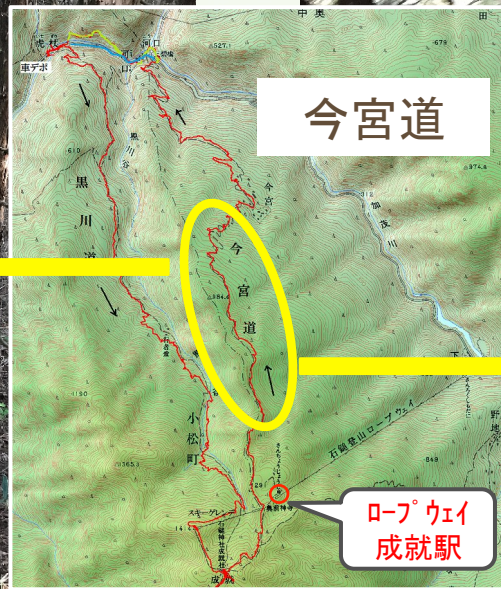
# 西条市の森林について

引用：平成31年3月定例会 一般質問「森林整備と林業振興について」

令和2年5月23日  
西条市議会議員 真鍋顕伸

# 西条市の森林の状態について？

石鎚山 今宮道 道中 '19/5/25



石鎚山 今宮道 道中 '19/5/25



住友林業の山 '19/7/10



枝打ち・間伐がされていないため、林の中は暗く、地面まで光が届かなくなり、下草が生えない状態

間伐が遅れると植えた樹木はお互いに成長を妨げ、太くならず、木材としては、形質も悪く、高く評価されません

「住友の植林事業ゆかりの地」では、手入れのされた森林を観察することができます。明るく下草も茂り、土壌もしっかりしている。

下草が生えないと、土壌が雨によって流出し、浸食され、**災害の危険性**が高くなります。また、降った雨が土壌に溜まることができず、**水源かん養機能が低下**します。**森林には、天然のダム機能が必要です。**

# 西条市の森林の問題点①？

- ・ 手入れが必要な人工林（針葉樹）を増やしすぎた  
広葉樹の場合、それほど手入れを要さない
- ・ 外国産木材の影響などにより、価格が低迷した
- ・ 林業就業者が激減してきた
- ・ 人工林(針葉樹)が放置された(枝打ち・間伐なし)  
森林の土に雨が注がなくなった(樹幹閉塞)
- ・ 森林の土壌が貧弱になり保水力が低下した
- ・ 森林の保水力が低下し、水の流れを遅らせる機能がない
- ・ 土壌が貧弱で雨によって流出し、浸食され、災害の危険性が高い
- ・ **以上のような森林面積が増加している！**

## 樹幹閉塞？

降った雨が木々の表面に付着して直接蒸発するため、土壌に水が届かない



土砂災害の  
危険性が高まる

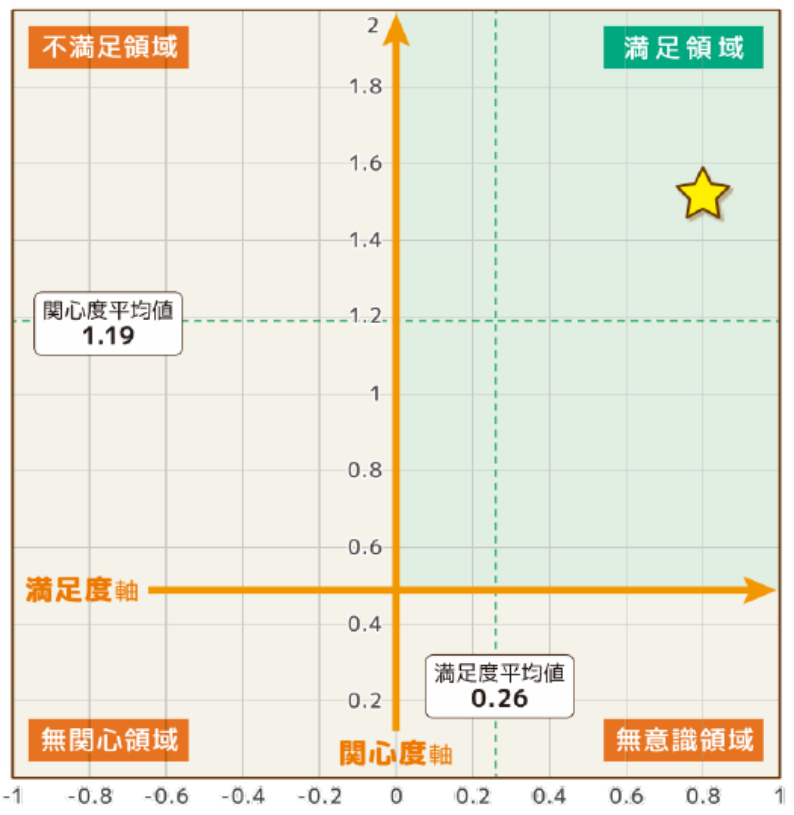


# 西条市の森林の問題点②？

まちづくり市民アンケート調査 (R元年6月)

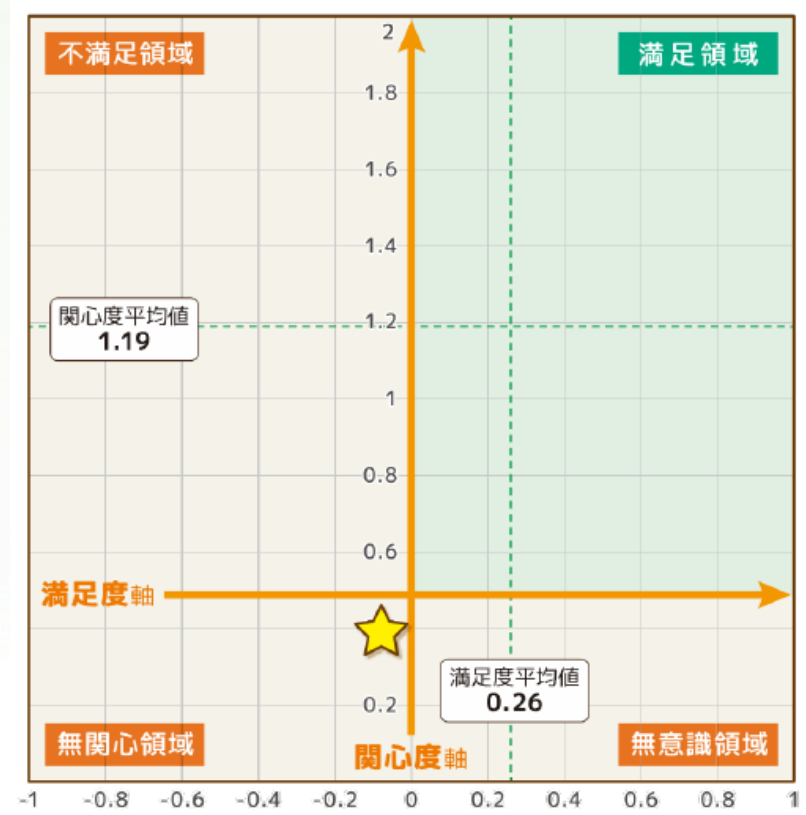
## 水源の保全

【市民の満足度・関心度 領域マップ】



## 林業の振興

【市民の満足度・関心度 領域マップ】



水源(水)に関して高い満足度・関心度



水の源である森林を左右する林業は大きく下回る



林業・森林の無関心が、将来の水源危機を招きかねない

引用：第2期西条市総合計画 後期基本計画

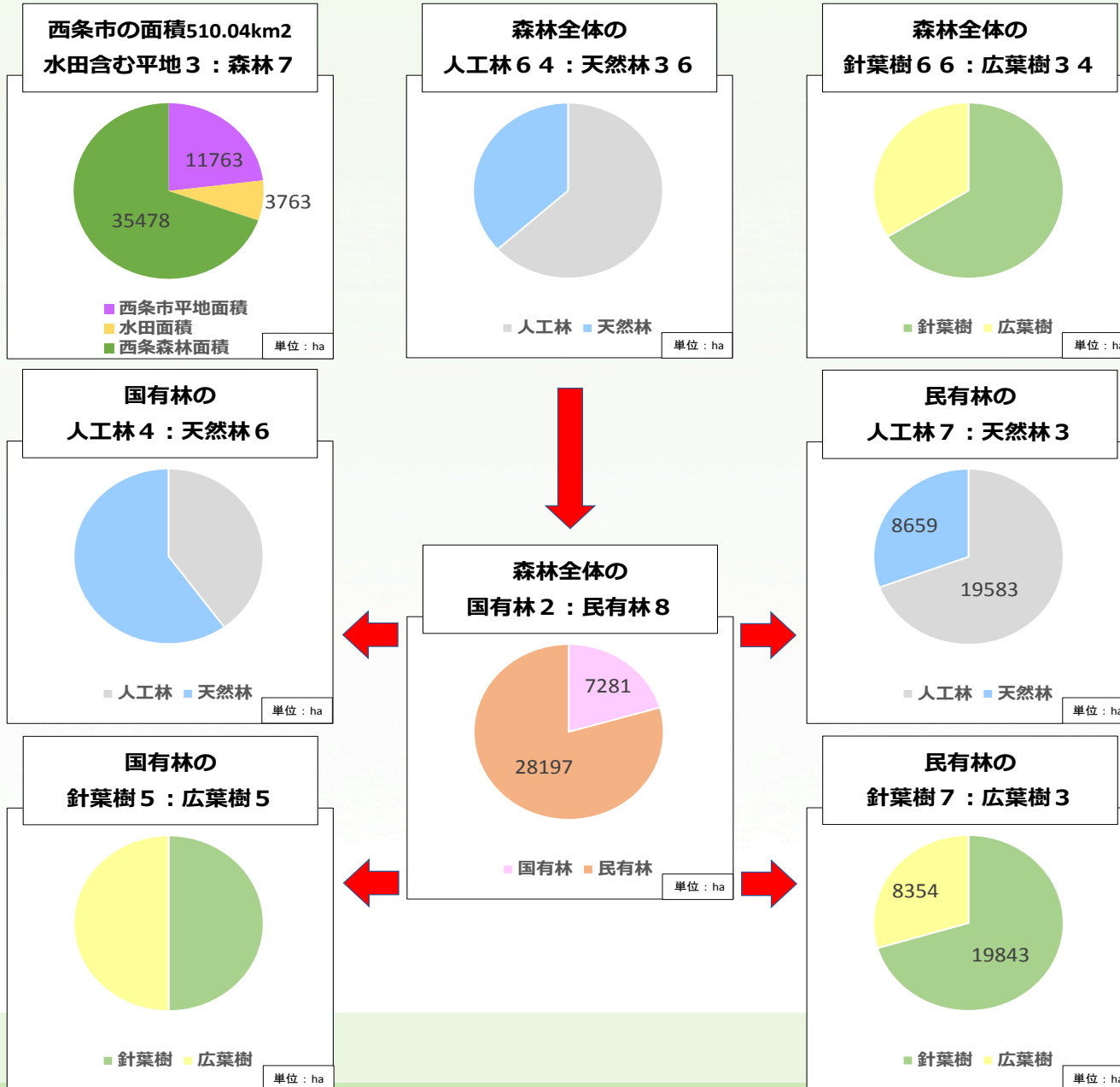
# 森林の現状について？

- 西条市の森林面積は 3 万 5,478 ha  
 国有林が 7,281 ha  
 民有林が 2 万 8,197 ha

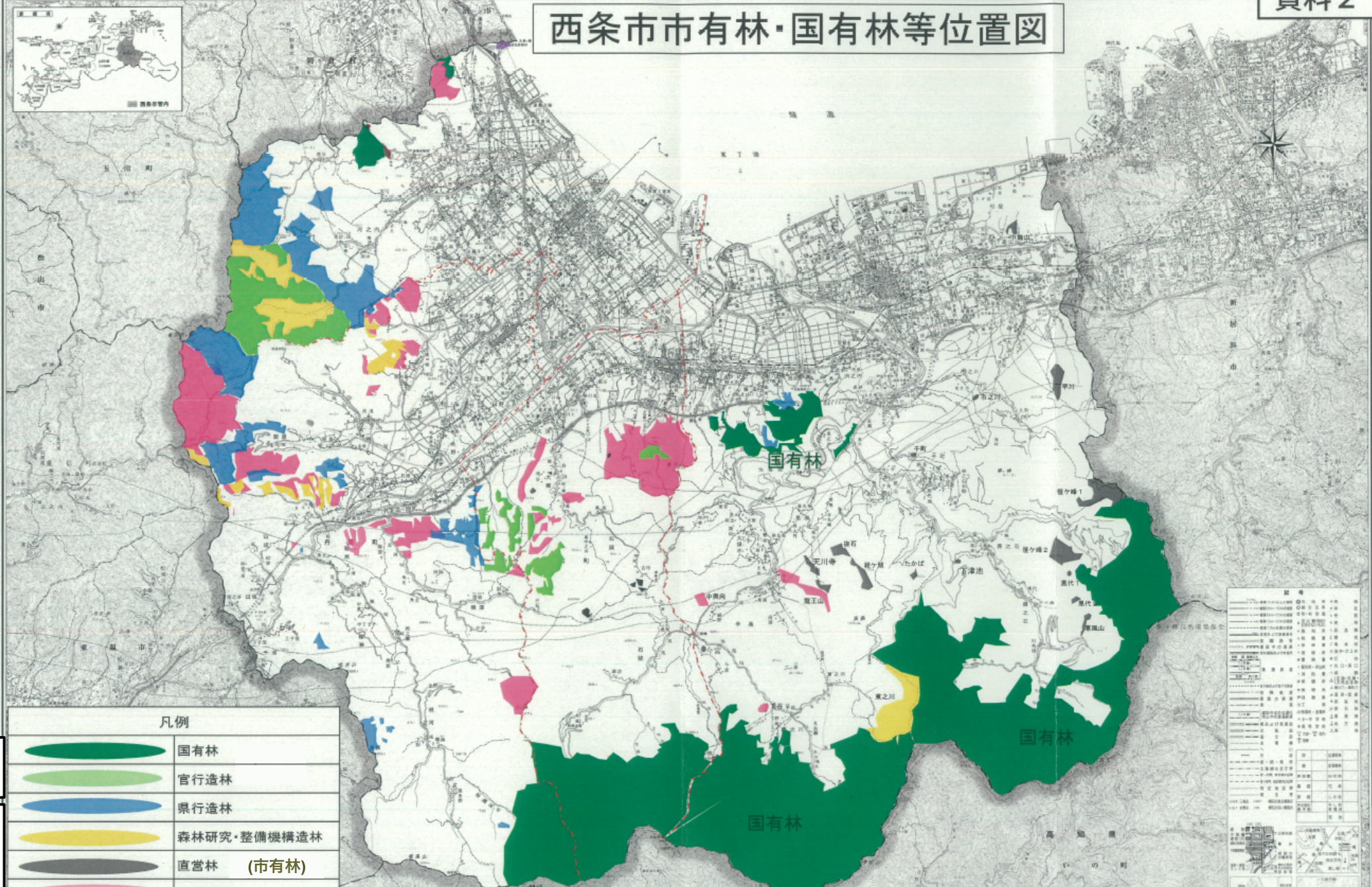
2015農林業センサス

- 国有林における人工林と天然林の割合は 4 : 6  
 針葉樹と広葉樹の割合は 5 : 5
- 民有林における人工林と天然林の割合は 7 : 3  
 針葉樹と広葉樹の割合も 7 : 3

# 森林の現状(グラフ)について？



# 西条市市有林・国有林等位置図



### 凡例

	国有林
	官行造林
	県行造林
	森林研究・整備機構造林
	直営林 (市有林)
	分収造林
	貸付林地

国有林

民有林  
森林の  
白い  
私有林  
を含む

# 森林の現状について？

- 間伐面積は、**過去5年間、毎年300ha前後**で推移
- 間伐が実施されていない人工林では、**樹冠が閉鎖し**、  
下草が生えず、表土も流出するなど**保水力が低下**している
- 樹木の生育も悪い
- 搬出費用に見合う木材販売価格を期待できない森林も存在する
- 近年は鳥獣被害も深刻で、ニホンジカの年間捕獲頭数は、

平成22年度	124頭
平成29年度	441頭
平成30年度	643頭

**(増加傾向)**



# 森林の現状について？

- 山間部においては、国土調査実施率は約6割
- 旧西条市の山間部において、現在国土調査を実施しており、境界の確定は徐々に進んでいる
- 間伐事業を実施するなかでは、近年、所有者が不明で連絡が取れない状況も進んでいる
- また、林家数についても、平成12年の1,262戸から平成27年には950戸と減少

# 森林の整備について？

- 平成29年度に整備された森林面積は市内全域で約300ha
- いしづち森林組合では、市内の森林約2千haを対象に、国・県・市の補助を活用して、年間100ha程度の森林整備
- 愛媛森林管理署 西条・石鎚森林事務所は、管内の国有林の管理及び森林整備  
⇒定期的に情報交換を実施
- 平成26年度に開始した水源の森整備事業は、令和5年度までの10年間に700haの間伐を行う計画であり、令和元年度までの6年間で319haの間伐
- アサヒビールの社員が毎年春と秋に、市内の協定森林で下草刈りなどの森林整備  
＜森林(もり)づくり活動協定＞
- NPOうちぬき21プロジェクトを中心とする竹取物語実行委員会では、毎年12月に、市内山間部において竹林整備

# 森林の整備(「所有者区分)について？

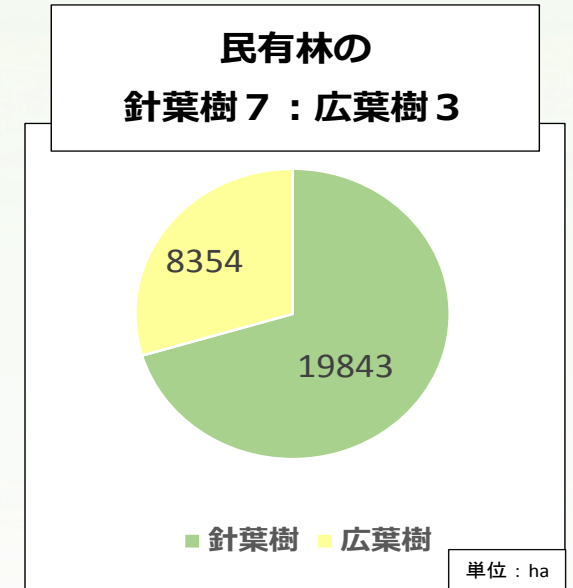
- 国有林は、愛媛森林管理署西条・石鎚森林事務所
- 県有林は、県が、市有林については市が、直接森林整備
- 私有林等は、森林所有者が直接森林整備を行う事例もある
  - ⇒大半は森林組合に施業を委託
  - ⇒森林整備に対して補助があるが、それでも採算が取れない森林
  - ⇒森林所有者が森林整備に関心がない森林等は、森林整備されない

# 森林の対策について？

- 新たな森林整備施策として創設される**森林環境譲与税**、この財源を活用し、**森林経営管理制度**に即して、森林所有者への意向調査  
所有者が管理できない森林を市が間伐等を実施  
適正な管理に努めたいと考えている
- 県の**森林環境税**を活用した事業は、集落等山地災害危険地区整備事業や、有害鳥獣総合捕獲事業等
- **西条市森林整備計画**は、市内全ての森林を、**水源涵養機能の維持増進を図る**ための森林施業を推進すべき森林に指定  
主伐後は、森林の公益的機能の発揮に配慮した植林を実施  
**木材の生産性及び水資源の保水力が高い森林の形成**を目指す

# 森林の問題点について？

- 市内の**私有林の内、人工林**(針葉樹)の面積は約2万haであり、一方、年間の間伐面積は**約300ha**である
- 間伐作業が一巡するのに**60年以上要する計算になる**
- 2回目の間伐までの期間が空きすぎ、良質な木材を生産するのは困難
- 林道から離れ、**斜面が急峻**であり、森林整備が困難な森林も多い
- 西条市の森林全てにおいて森林整備を行うことは、**非常に難しい**



# 外国資本による森林売買への対応について？

- 森林の売買は、国土利用計画法に基づく届出、又は森林法に基づく届出が必要これらの届出の確認では、現在まで**外国資本等による山林所有の事例は見当たらない**
- **水源林の保全条例**については、平成24年に北海道で初めて施行  
四国では徳島県が制定  
西条市は、現時点で必要性の有無や条例の実効性等の情報収集  
県や先進地の動向等を注視

# 森林の更なる対策について？

(西条市独自の森林整備に対する財源確保について)

- 平成31年度から、新たに森林環境譲与税が導入  
当該譲与税は主に全国の市区町村に交付される  
まずは当該譲与税の活用を考える
- 林業の担い手が多数育成され、当該譲与税額を上回る事業量が  
求められることとなれば、その時点で財源について検討を行う



## 西条市の林業について